

これ知っとう？

わが町の宝物 第9回

おつうえきこふんぐん 乙植木古墳群



古墳群からの出土品(須恵町歴史民俗資料館)

時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

乙植木古墳群は、乙植木天満宮のある丘陵の上に位置する古墳群です。

お宮の丘陵は、九州自動車道によって東西が分断されていますが、かつては一つの丘陵でした。九州自動車道建設と開発に伴い、昭和47年と昭和60年に、計8基の古墳の発掘調査が行われました。

調査の結果、今から約1500年前の5世紀中ごろから6世紀後半にかけてのおよそ100年の期間にわたって築造された古墳であることが分かりました。

古墳群からの出土品の一部は、町立歴史民俗資料館に展示されています。特に、3号墳から出土した銅鏡は、町内に約70基ある古墳の中で唯一、鏡を

乙植木区の合屋浩寿さん(写真左)と稲永義一さん(写真右)にお話を伺いました。



副葬した古墳です。鏡を副葬する古墳は有力者の証といえます。

古墳が位置する丘の上は現在、天満宮の社があり、毎年7月には奉納相撲が行われます。静かな社叢が大いに賑わいます。また、7月末には子ども会による獅子舞が行われ、子どもたちが6組に分かれて地域の安全安心を祈ります。

権力者の墓地であった丘陵は、今は地域の氏神様である天満宮が鎮座し、乙植木の人々を見守り続けています。



■乙植木天満宮

所在地:須恵町大字植木1677番地

■須恵町歴史民俗資料館

所在地:須恵町大字上須恵21番地3

休館日:月・火・水曜日(祝祭日除く)・8/1~15・12/25~1/10

電話:092-932-6312

編集後記

福岡・大分の大雨洪水による被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

町立歴史民俗資料館を視察しました。社会教育課の山下学芸員の説明を受けながら、5世紀頃から続く須恵町の歴史に思いをはせました。

今定例議会でも、町の歴史遺産の保存と活用について一般質問がなされました。本頁の「わが町の宝物」では、約千五百年前の「乙植木古墳群」について解説されています。

天満宮のある丘陵(古墳群)から出土した銅鏡や腕飾りも民俗資料館に展示されています。

江戸時代の眼療宿場、国営海軍炭鉱志免鉱業所のジオラマ・資料や写真、昭和の懐かしい日常生活用品にふれながら、昔を偲ぶ時間を持つてみるのはいかがでしょう。

白水 勝元

発行責任者

議長:三角 良人

広報特別委員会

委員長:今村 桂子

副委員長:白水 勝元

委員:合屋 伸好

委員:三角 栄重